

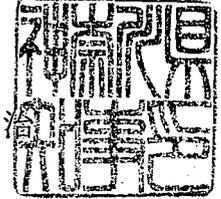


政総第 1681 号

令和 2 年 12 月 17 日

神奈川県議会議長 嶋 村 ただし 殿

神奈川県知事 黒 岩 祐



質 問 趣 意 書 に つ い て ( 回 答 )

令和 2 年 12 月 7 日付け神議第 1658 号をもって送付のありました北井宏昭議員からの質問趣意書について、別紙のとおり答弁書を提出します。

問合せ先

政策局総務室

企画調整第一グループ 松本

内線 3041

## 答 弁 書

コロナ禍に関わる諸課題について

### 【神奈川県衛生研究所の職域拡大について】

本県衛生研究所では、全国の地方衛生研究所と同様に、保健所から持ち込まれる様々な検体の防疫検査や研究を行っており、今回の新型コロナウイルス感染症の検体に対するPCR検査については、優先的に実施しているところです。

当初は、急増する検体数への対応に苦労しましたが、最近では民間検査機関での検査の増加に伴い、衛生研究所に持ち込まれる検体数は少なくなっています。

しかしながら、擬陽性の再判定など保健所からの検査ニーズも依然として高く、感染症の新たな流行をいち早く察知するためにも、衛生研究所での検査が必要であり、すべてのPCR検査を医療機関や民間検査機関で実施することは難しいと考えています。

また、衛生研究所では、新型コロナウイルス株を独自に分離し、その分離株を活用した迅速検査方法の研究や抗ウイルス製品の機能評価等他機関からの分与・研究支援に加え、流行株の変異についての遺伝子分析などの感染拡大防止に向けた研究も進めていることから、一定量の検体を採取するためにも、検査を実施する必要があります。

一方、クラスターが発生している介護施設や教育機関、飲食店等につきましては、所轄の保健所の医師や保健師等が現地を訪問し、感染拡大防止に向けた助言や指導を行うとともに、必要に応じて、PCR等の検査も拡大実施し、クラスターの早期封じ込めを図っております。

併せて、入院治療中や介護中といった事情で陽性患者を施設内にとどめざるを得ない福祉施設等については、保健所からの要請に基づき、県の本部室からC-CAT（コロナクラスター対策チーム）と呼ばれる感染制御の専門家を集めた特設のチームを現場に派遣し、ゾーニングなど施設内の感染拡大防止に向けた現場指導を行っております。

県ではこうした役割分担と連携により新型コロナウイルス対策を実施しており、衛生研究所は、研究員の技術や知見と高度分析機器を活かし、引き続き、新型コロナウイルスに関連する検査や研究に取り組んでまいります。

## 【オンライン譲渡会について】

（「譲渡会」という表現について）

譲渡希望者が動物に直接触れ合い、お互いの相性を確認しマッチングすることが重要であるため、従来から県動物愛護センターにおいて開催している「譲渡会」でも、当日、犬や猫をお譲りすることではなく、後日、譲渡希望者と面接を実施しています。

コロナ禍において開催した「オンライン譲渡会」も当日に犬や猫を譲渡することではなく、面接を経て譲渡する流れについては、今までの譲渡会と同様です。

「譲渡会」という名称については、これまでも使用しており、県民の方に定着していると考えます。今後も「譲渡会」という名称を変更しませんが、参加する方には事前に譲渡までの流れがわかるように告知に際して工夫していきます。

（共通のコンセプトとの齟齬の有無のチェックについて）

令和2年9月25日に開催した令和2年度動物愛護センター譲渡推進プロジェクト事業業務委託に関する公募型プロポーザル方式の審査会での意見を踏まえ、県動物愛護センターが共通コンセプトとの齟齬がないか確認のうえ、10月9日に最優秀提案者と契約を締結しました。

今回、公平性の観点から、県動物愛護センターの譲渡ボランティアの方全員に参加を募り、応募いただいたすべてのボランティアの方が保護している犬や猫をご紹介します。

県動物愛護センターに保護された犬や猫を中心に紹介しましたが、ボランティアが紹介する保護犬や猫については、特段の制限はしていませんでした。コロナ禍において各ボランティアの方が譲渡会等を開催できない状況にあるため、広く保護動物を紹介することが動物のいのちを守る取組みの一助となると考えました。また、「かながわペットのいのち基金」について、今回のオンライン譲渡会は、基金を活用した事業の中でもメインとなるイベントであったと認識し、県動物愛護センターからのお知らせのコーナー等でその趣旨や用途等について紹介しており、今後とも、基金を活用した事業であることがよりわかるよう工夫してまいります。

（オンライン譲渡会の視聴について）

オンライン会議システムにおいて、入室 URL を一般公開すると、無関係の方によるイベント妨害リスクがあると言われていました。そこで、参加者の安全・利便性を確保するために、申込者に入室 URL をお伝えする事前申込制としました。

参加できる人数は、サイトの設計上あらかじめ設定する必要があり、また、費用対効果を考慮し、従来の譲渡会の平均参加人数 100 名より多い 300 名を定員としたところ、240 名から応募がありまし

た。

なお、今回のオンライン譲渡会の開催にあたっては参加者の安全・利便性の確保から事前申込制とすることとしていますが、今回の実績も踏まえて、より多くの方に参加いただけるよう検討してまいります。

(委託事業者及び委託料の金額の審査について)

令和2年9月25日に開催された本事業の委託に関する公募型プロポーザル方式の審査会では、提案者がプレゼンテーションを実施し、その内容及び企画提案書等を基に、県の動物愛護管理の施策や広報施策等にかかる取組みに知見のある4名の審査員により審査を行いました。

見積書の積算内容の妥当性のほか、業務遂行能力、業務企画力を審査項目として、これらを総合的に判断し、今回の事業者を最優秀提案者と選定しました。